

令和元年度第2回富山市交通空白輸送地域公共交通会議 議事録

1. 日時 令和2年2月6日（木） 14:00～15:30

2. 場所 富山市役所 議会棟8階 第3委員会室

3. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
金沢大学理工研究域地球社会基盤学系	教授	中山 晶一朗	
富山市自治振興連絡協議会	副会長	山田 憲彰	
富山地方鉄道株式会社自動車部運行管理課	課長	林 裕一	
富山県タクシー協会	専務理事	清澤 新一	
全国自動車交通労働組合富山地方連合会	執行委員長	石橋 剛	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局	首席運輸企画専門官	開田 慎	
富山県警察本部交通部交通規制課	課長	古川 秀治	代理出席
富山県観光・交通振興局総合交通政策室	次長	清水 圭	
富山県富山土木センター	次長	西井 慎一	
富山市活力都市創造部	部長	前田 一士	

【説明者】

- ・堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会 事務局長 熊野 通有
- ・婦中コミュニティバス運営委員会 理事長 古川 一治
事務局長 宍戸 浩二

【事務局】

- ・富山市活力都市創造部交通政策課 課長 村井 真哉、課長代理 片山 尚之、
技師 相澤 眞子

4. 議事

・議決事項

- 議案第1号 堀川南地域コミュニティバスのルート、協議運賃等の変更について
- 議案第2号 音川地区デマンド型乗合タクシーの運行終了について
- 議案第3号 婦中コミュニティバスの路線・停留所位置の変更について
- 議案第4号 市営 大沢野シルバータクシーの発着時刻変更について
- 議案第5号 市営 八尾コミュニティバスのルート、運行回数等の変更について
- 議案第6号 市営 山田コミュニティバスの路線廃止、運行回数の変更について

5. 資料

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・配席表
- ・会議資料
- ・富山市交通空白輸送地域公共交通会議設置要綱

議案第1号 堀川南地域コミュニティバスのルート、協議運賃等の変更について

【概要説明】 富山市

【資料説明】 堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会

【意見・質問要旨】

(中山会長)

1 便あたり1. 2人程度の利用があるが、利用者は固定されているのか。また、バスの存在は周知されているのか。

(堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会)

高齢者から若い方まである程度利用があるが、想定よりも利用が少なく今後も利用促進が必要であると考ええる。

【議決】 原案のとおり承認

議案第2号 音川地区デマンド型乗合タクシーの運行終了について

【概要説明】 富山市

【資料説明】 婦中コミュニティバス運営委員会

【意見・質問要旨】

(前田委員)

地元の強い要望を受けてのデマンド型乗合タクシーであると認識しているが、利用が伸びなかった主な要因はどのようなものか。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

利用が伸びなかった主な要因として、前日までの予約が必要であること、音川地区から外へ移動できないことが地元住民にとって不便であるためと考えている。

(前田委員)

利用者の7～8割の行先は千里駅への利用であるとのことだが、その他への利用が伸びなかった要因はどのようなものか。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

音川地区には移動販売が行われており、そのことが主な要因と考える。

(石橋委員)

これまでの経緯として、コミュニティバスからデマンド型乗合タクシーへと変わり、今回再びコミュニティバスへ戻ることとなるが、利用は確保できるのか。

また、同じデマンド型乗合タクシーの大沢野シルバータクシーは利用状況が良いが、デマンドタクシーのまま利用者の利便性を向上させる議論はなかったのか。

(中山会長)

この後の議案第3号の内容と重なる部分があるため、利便性を向上させる議論があったのかについてご回答いただきたい。

(富山市)

利用者の方々から、予約が面倒であるという声や、定時定路線のほうが安心できるという声があったことから、自治振興会との議論を重ね、コミュニティバスとして運行することとなったものである。

(清水委員)

利用者の年齢構成についてと、登録人数を増やすために何か取り組んだことがあれば教えていただきたい。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

年齢構成については把握していない。利用促進の取り組みとしては、電車や婦中コミュニティバスへの乗り継ぎ時刻表を用意し、地区センターへ配置した。

(清澤委員)

エリア設定において、利用が伸びないことは想定されていたと考えるが、どの様な経緯からこのエリア設定となったか。

(富山市)

音川区域内には山田方面へ向かう路線バスが走っており、競合を配慮し制限した。その代わりに、地区内にない施設へ行けるよう地元と協議を重ね、地区外の駅、病院、スーパーを目的地として設定した。

(中山会長)

外の地区との公平性ではないかと思われる。

【議決】 原案のとおり承認

議案第3号 婦中コミュニティバスの路線・停留所位置の変更について

【概要説明】 富山市

【資料説明】 婦中コミュニティバス運営委員会

【意見・質問要旨】

(山田委員)

西ルートは山田まで延伸することはできないのか。婦中コミュニティバスが市営だった際に、山田から利用している人がいたため検討してはどうか。

(富山市)

山田地域には市営の山田コミュニティバスが走っており、市としても婦中コミュニティバスの山田地域への延伸は考えていない。地域としても山田地域への延伸は考えていないものと認識している。

(清澤委員)

西ルート・東ルートも同様であるが、運行距離、時間ともに長くなっている。他の地域では運行時間が長いと利用が伸びないことが多く、利用されていない。どの程度の乗車を考えているのか。30分の運行時間だと長く、利用しづらいという意見がある。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

自治振興会での協議の際には、運行時間を短くしてほしいとの要望は出ていない。また、運行委託先である富山地方鉄道さんと協議は重ねており、調整した時間となっている。

(中山会長)

先ほどの石橋委員のご質問をさせていただくが、再びコミュニティバスに戻すことによってどのような利点があるのか。また、以前のコミュニティバスとどの点が異なるのか。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

婦中地域の中で、音川地区は小さく人口は400世帯ほどと少ないが、中山間地域であるため、移動に不便である。その地域の方々にも他地区と同じような移動手段を提供したいと考えている。

(富山市)

音川地区については、以前の市営コミュニティバスであった際のルートとほぼ同一である。運行時間は異なるが、目的地もほぼ同等である。

(開田委員)

意見として、所要時間１００分は長く、できれば複数系統での短時間の運行が望ましい。車両の台数や、運転手の確保等の問題もあるが、今後なるべく短い時間で目的地まで行けるよう検討してほしい。

(清水委員)

大学病院まで行けるようになるため利用が伸びるのではないかと。しかし、出発時間が早いのではないかと。今後利用者の声を聞きながら検討してほしい。

(婦中コミュニティバス運営委員会)

音川地区は別ルートとする提案もあったが、地域の方から一緒にしてほしいとの要望があり、このルートとしている。

(林委員)

委託されている立場として、運行時間、車両、運転手との兼ね合いを考えた形となっている。まずは１年間運行して、利用者を増やしていけるよう協力して運行していきたい。

(中山会長)

地域の特性として中山間地域で生活しづらいということや、交通弱者への配慮として病院への移動手段の確保は必要である。様々な話し合いをされた結果としてこのような形となっているのではないかと。今後も利用が伸びるよう継続して話し合っていただきたい。

【議決】 原案のとおり承認

議案第4号 市営 大沢野シルバータクシーの発着時刻変更について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(清水委員)

利用状況を教えていただきたい。

(富山市)

平成３０年度は登録者数が９５９人、利用者数が延べ２万２,３００人余りである。平成２９年度は２万２,８００人、平成２８年度は２万３,０００人の利用である。下タ地区では、平成３０年度で１,２０９人の利用がある。

(西井委員)

行きの１４：１５発の便だと帰りは１５：３０発の便になるが、帰ることができるのか。

(富山市)

８：３０発の便や１１：１５発の便だと帰りの便は１３：３０発の便となり、お昼の時間からずれるため不便であるという意見が最も多く、運行事業者と相談して決定した時間となっている。

(中山会長)

１４：１５発だと目的地への到着は何時ごろになるのか。

(富山市)

片道で３０分～４０分かかるため、１５：００前後である。

(中山会長)

帰りの１５：３０発の便を遅くすることはできないのか。

(富山市)

運行が１６：３０までであるため、最終は１５：３０発としている。

(中山会長)

運行時間の変更について、今後運行していく中で必要があれば、また検討していただきたい。

【議決】 原案のとおり承認

議案第5号 市営 八尾コミュニティバスのルート、運行回数等の変更について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(清水委員)

石戸で運行を終えた後に八尾駅を通るのであれば変更しなくても良いのではないのか。

(富山市)

この便の運行を終えた車両は車庫へ戻るため、回送となる。

【議決】 原案のとおり承認

議案第6号 市営 山田コミュニティバスの路線廃止、運行回数の変更について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(西井委員)

7：32の便は残すということで良いのか。土曜運行の帰りの便がなくなるのではないかな。

(富山市)

八尾駅から八尾高校までは1.3kmほどであり、坂道となっている。行きは上りのため利用する高校生が多いが、帰りは下りとなるため歩く学生が多く、支障はないと考えている。

【議決】 原案のとおり承認

(以上)